2023年5月24日（水）

「水曜サロン with 赤堀会長」第4期 第6回（通算51回）

小中高におけるSTEAM実践事例の紹介

１．内容

・ブリタニカについて

250年の歴史、百科事典と辞書の違い、スクールエディションについて、検索エンジンとの違い、

エクササイズ１（10円玉の表と裏を書いてください）、

ブリタニカのSTEAMコンテンツ、現場の先生からの声

・STEAM実践事例紹介

２．所感

好きのスタートラインは知ることだ。小学生の頃を思い出しました。居間に書棚があり、そこには大きな百科事典が並んでいました。子どもの私には重いので書棚から1冊とりだしては、すぐ近くの床で見ていたものでした。調べるわけでもなく、開いたところを見て、興味がわいたら、引き込まれる。興味がわかなかったら別のページを開く、あるいは本を入れ替える。確かにそうでした。大変お世話になっていたのですね。遅ればせながら感謝いたします。お話の中には、エクササイズが２つ出てきました。1円玉の表と裏を書いてください。身の回りのことがどれだけ見えているか、それがSTEAMのポイントの一つとのことです。・・・10、なんか建物が・・、私は見えていませんでした。もう一つは、認知とナッジ（行動経済学）のもので、コイントスをして、A）表が出たら2万円、裏ならゼロ円、B）確実に1万円もらえる、どちらを選びますか？本日の水曜サロンへの参加者はギャンブラーが多かったようです（笑）、私は何度聞かれても、B）を選択します。ナッジというものを深く学んでみたくなりました。

実践事例のご紹介では、テーマと授業枠の使い方の工夫がよくわかりました。例えば、ベジミートのテーマでは、「科学と人間生活」と「家庭基礎」でそれぞれ1時間、スマートハウスのテーマでは、「物理基礎」、「生物基礎」、「古典」で各1時間を使うといったご紹介がありました。古典ですかぁー、なるほどですね、工夫できるものですね。

質疑では、エジプトの算数・数学のSTEAM実践、STEAMの課題、検索エンジンやチャットCPTとの差別化などへ展開しました。冷静に、チャットGPTは平気でうそをつく、ブリタニカの百科事典、STEAMコンテンツは、限られた信頼性のある情報元であること、短い時間で興味関心のツボを焦点化できること、スパっと言い切っていただきました。須藤さん、石澤さん、本日は、本当にありがとうございました。

以上